

声

業界の



●山梨報徳機工協同組合

理事長 新藤 進氏

業界の現況は？

本組合は、一宮尊徳翁の哲学・経済学・経営学を取り入れ、これを骨子として、経営に又、生活の場実践することを目的として、昭和55年にそれまでの研究会から発展して、組合を設立しました。

翁の教えの報徳精神を勉強して、経営・社員教育、又地域社会・生活の場に反映するべく、組合を設立して以来、毎月定例会を実施し、講師を呼んでの研修会、中央会などの各種施策の説明会、親睦事業等を開催しています。以前は、組合員の自宅を会場と定め実施してきたが、現在は当番幹事を定めリーダーとして、会場・設営・プログラム・定例会の運営を行っています。

また、毎月の定例会では、「報徳精神の教え」を勉強しています。現在、組合員は7社ですが、組合員の会社は比較的業績が良好となっています。これも、報徳の教えの一つである「分度」(適量・適度のこと)の精神の実践と、自分の背丈で話しをし、何事にもわきまえ、堅実に経営しているからだと思えます。

今後の展開は？

報徳の教えには二つの柱があり、「勤労」・「分度」・「推譲」という言葉であらわされています。

今後、組合員においては、この教えをきわめて誠実に実行することにより、組合事業や企業の活性化を図り、社会に貢献することを信条としていきたいと思えます。

今後、より一層「報徳の教え」に基づき、各事業所の事業や社員教育に反映しながら、組合員同士が連携し絆を深めていきたいと思えます。

また、山梨県内外に広く交流を求め、組合活動を活性化することを常に心にかけて強く望んでおります。

報徳訓

父母の根元は天地の令命にあり
身体の根元は父母の生育にあり
子孫の相続は夫婦の丹精にあり
父母の富貴は祖先の勤功にあり
吾身の富貴は父母の積善にあり
子孫の富貴は自己の勤労にあり
身命の長養は衣食住の三にあり
衣食住の三は田畑山林にあり
田畑山林は人民の勤耕にあり
今年の衣食は昨年の産業にあり
来年の衣食は今年の艱難にあり
年々歳々報徳を忘るべからず